

6月8日、東北はまだ暑いほどのいい天気が続いている。
今日は大槌町と山田町に足を運ぶことに。保育園を訪問することを、事前に大まかな状況を聞くことと、役場の担当部署のアレルギーへの理解と協力（了解）を得るためである。
大槌町の役場は津波で全壊しており、プレハブの仮設役場がつくられている。



津波で大破した大槌町役場

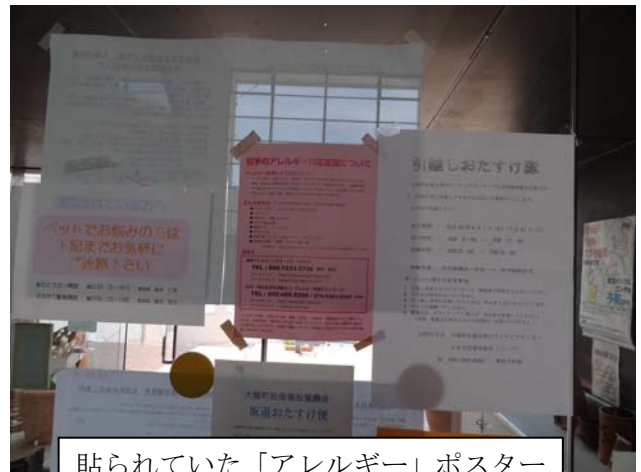


仮設の町役場（福祉課）

保育園の担当者に会い、用件を伝えると、何処もそうであるが、すぐに了解していただいた。
次に、大槌町教育委員会を訪ねる。
教育委員会は中央公民館の中にこれも仮の場所のようだ。公民館全体は避難所になっており、盛岡サークル「ミルク」さんが作ったポスターが入り口に貼られていた。



避難所になっている中央公民館



貼られていた「アレルギー」ポスター



大槌町の様子
津波の被害は何処もすさまじい
全壊した家や、瓦礫がまだそのままの
ところが多い。



教育委員会と話し合った後、大槌町の学校給食センターに訪問することに。

少し離れた、吉里吉里（きりきり）の場所にある。もう1時近い、給食の配送はすでに終わっている時間だと思い、訪問することに。

栄養士の方に会うことができた。

「あくまで災害時の簡易給食」（救援物資で届けられた食材を主に使用した献立）、「アレルギーと区別する容器がないので、できるだけ卵などを使わない献立。抜いても1つだけを取り除けるように工夫し、アレルギーの子もできるだけ食べられるようにしている」と強調されていた。アレルギーの子どもの人数を聞くと104人もいるとのこと（震災前、全部で1100人ほどの食数）。

月	火	水	木	金
こんだて	6月のこんだてひょう	あじのこいし	あじのこいし	あじのこいし
あじ	あじ	あじ	あじ	あじ
さい	さい	さい	さい	さい
みどり	みどり	みどり	みどり	みどり
こんだて	あじフライ	ツツサウダ	あじのこいし	あじのこいし
あじ	あじ	あじ	あじ	あじ
さい	さい	さい	さい	さい
みどり	みどり	みどり	みどり	みどり
こんだて	あじのこいし	あじのこいし	あじのこいし	あじのこいし
あじ	あじ	あじ	あじ	あじ
さい	さい	さい	さい	さい
みどり	みどり	みどり	みどり	みどり

大槌町の6月の給食献立表

6月の献立表を見せていただいた。米食の和風献立である。これなら、食べられる子は確かに多い。
 栄養士さんの工夫と苦勞が伺えた。
 私たちの目標でもある「アレルギーの子もみんな一緒に食べられる」給食が被災地で実践されている。すばらしい！

1100人分のどんな食材の提供ができるか、大いに検討の必要がありそうだ。

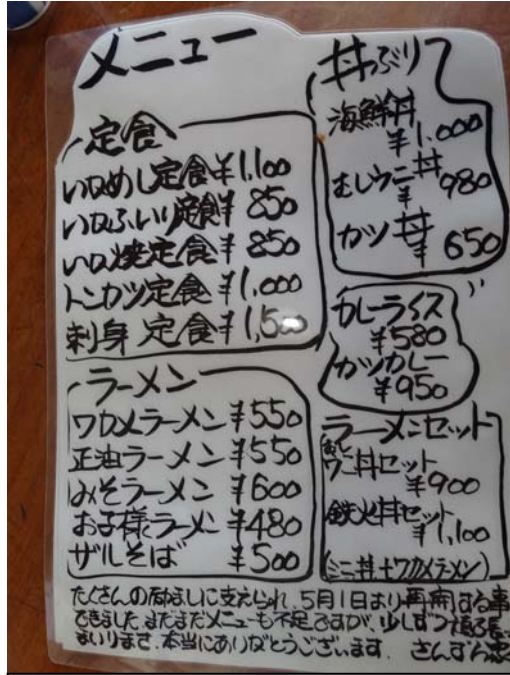
栄養士さんらにお礼を言って、どんな支援ができるか検討する旨をお伝えした。

大槌町まで来たので山田町まで足を伸ばすことに。気がついたら朝から何も食べていない。

コンビニはないかと探していると1軒のお店が開いていた。



いかめし
 定食
 おいしか
 った！



たくさんの励ましに支えられ5月1日より再開・・・とメニューに書かれていた。